

# 一般質問の概要

令和2年第1回 二宮町議会定例会

○3月2日（月）午前9時30分～

（二宮節子、渡辺訓任、松崎健、小笠原陶子、根岸ゆき子 各議員）

※2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。

※議員の質問時間は、1件につき40分、2件以上は60分です。ただし町執行部側の答弁時間を含みません。

No	質問予定議員	質問概要
1	二宮節子 議員	<p><b>認知症の対応状況や今後について</b> <b>（放映件名：認知症の対策状況や今後について）</b></p> <p>二宮町高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画が村田町長主導のもと実施されて、対象期間2018年度から2020年度までの期間の終わりが近づいています。次の計画に向けての調査や分析を今後実施する期間であることは、令和2年度二宮町施政方針で明らかにされておりますが、今回は、この3年間で実施された認知症の対応状況や今後について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 早期診断・早期対応の支援体制はこの期間でどのように深めてきたのか。</li><li>2. 認知症地域支援推進員の配備状況は。</li><li>3. 認知症による「引きこもり」の対応は。</li><li>4. 認知症による徘徊の可能性のある高齢者を対象とした賠償責任保険の助成制度の導入は。</li></ol>
2	渡辺訓任 議員 (2件)	<p><b>会計年度任用職員制度の運用開始にあたって</b> <b>（放映件名：会計年度任用職員制度運用開始にあたって）</b></p> <p>会計年度任用職員制度の運用が本年4月開始される。この制度の導入にあたって、処遇改善への期待を寄せる一方で、業務の外部委託がさらに広がることで雇用が継続されるのか、時給が下がるのではないかなど心配の声が聴かれるようになった。この制度変更は、職員の生きがいを町民サービスの発展に結びつける働き方改革、財政のあり方にも大きな影響を与えることはもとより、町の行政のあり方にとって大きな転換点になり、町全体の働き方に影響すると考える。</p> <p>制度導入にあたっての現在の準備状況と町の方針を次のように問う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① どれだけの非正規職員が会計年度任用職員に変更になるのか。フルタイムの採用はあるのか。</li><li>② 2月に公募が行われたが、その状況はどうか。</li><li>③ 新制度での各職種の処遇はどのようになるのか。基本給と諸手当はどのように変わるのか。</li><li>④ 町の財政への影響はどのように見込んでいるか。</li><li>⑤ 今年度の2学期より、学校給食の調理などで外部委託が始まったが、現状はどのようになっているか。</li></ol> <p style="text-align: right;">以上</p>

		<p><b>公共・公用施設の保全と財政見通しについて</b>  <b>(放映件名：公共・公用施設の保全と財政見通し)</b></p> <p>近年、公共施設の空調設備の故障や雨漏りなどで利用に支障をきたすケースが起こっている。雨漏りについて言えば、利用者には、不便以上に建物の安全性などに不安を抱かせることにもなっている。公共施設再配置計画では長期的な補修費の見通しが示されているが、具体的なものではない。現在策定中と思われる財政計画は補修費を十分反映させたものになっているのか、新庁舎整備、東大跡地整備などを進める上での問題はないか、次のように問う。</p> <p>①直近3年間、補正予算や予備費で対応することになった施設の修繕や補修の状況は。</p> <p>②公共・公用施設の保全についての基本方針、見通し、計画は。</p> <p>③税収を含めた今後の財政運営についての見通しは。</p> <p>④施設保全に要する費用は財政計画にはどのように折り込まれているのか。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
3	<p><b>松崎健</b>  <b>議員</b></p>	<p><b>二宮町の観光について</b>  <b>(放映件名：二宮町の観光について)</b></p> <p>近年、吾妻山公園の早咲きの菜の花がマスコミに取り上げられ有名になっており、多くの観光客が訪れるようになりました。しかし吾妻山公園の菜の花シーズンに特化した観光となっている問題や、町内を回遊する観光客が少ないという問題が生まれています。また、リピーターも減少している傾向にあり、このため、観光振興が、必ずしも経済の活性化に結び付かないという問題も生まれています。</p> <p>1. 平成25年度（第5次二宮町総合計画初年度）以降の二宮を訪れる観光客数、観光案内所への訪問者数並びに観光案内所の売上額を月毎に示していただきたい。（データがなければわかる範囲で）</p> <p>2. 現在町民センターに移転している観光案内所を JR 二宮駅北口階段下へ設置するための「観光案内所設計委託料」は補正予算から除外された。今後観光案内所はどうするつもりか。</p> <p>3. 町内を回遊する観光客が少ない理由についてどう考えているか。</p> <p>4. リピーターが減少している理由についてどう考えているか。</p> <p>5. 観光振興が経済活性化に結び付かない理由についてどう考えているか。</p> <p>6. 第5次二宮町総合計画基本計画は二宮町の観光の現状と課題、施策の方向性を記載している。同計画は二宮町総合戦略（P5）に示すように関連する計画、戦略等を踏まえ作成し整合性が保たれているといえるか。</p>

4	小笠原 陶子 議員	<p><b>公共交通であるバスを乗り支えるために</b> <b>(放映件名：公共交通であるバスを乗り支えるために)</b></p> <p>1. 町では地域公共交通計画を策定し、モビリティ・マネジメントを打ち出している。計画にもモビリティ・マネジメント (MM) とは、地域や都市を、「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に (=かしこく) 利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取り組み 「環境や健康などに配慮した交通行動を、大規模、かつ、個別的に呼びかけていくコミュニケーション施策」を中心として、ひとり一人の住民や、一つ一つの職場組織等に働きかけ、自発的な行動の転換を促していく点がその大きな特徴と記されている。その進捗を伺う。</p> <p>①町は計画に基づき地域公共交通活性化協議会を定期的開催している。多種の事業者が参画して意見交換されているが、バスの乗車客は減少の一途であるし、この数年バス路線も廃止された便がある。バス協会から、免許返納前の段階でバスに乗り慣れる機会を作ってほしいとの意見があった。団塊の世代が定年退職し地域に戻ってきている。超高齢者になる前にバスに親しんでいただく機会を持つ方策について伺う。</p> <p>②持続可能な環境づくりの一環としてもバスの利用を勧めたい。特に子どもたちにバスの必要性を認識してもらうことが大事である。自治体によっては子ども向きのパンフレットを作って、啓発に努めている。内容はバスの利用のメリット、バスの必要性、バスの乗り方、バスの割引券の事など、イラスト入りで理解しやすい。子どもたちへの啓発を伺う。</p> <p>③二宮町は神奈中バスが運行している。かなちゃん手形など割引システムがあるが知らない方も多い。利用が増えることはバス便存続に不可欠だし、高齢者が出かけることは介護予防につながる。町は積極的にPRし、その取得にあたり購入しやすい支援をすべきと考えるがどうか。</p>
5	根岸 ゆき子 議員	<p><b>有害鳥獣対策と遊休農地の有効活用</b> <b>(放映件名：有害鳥獣対策と遊休農地の有効活用)</b></p> <p>1. イノシシ被害は農作物の実被害のみならず、人家のそばへも出没し土地を荒らしたり不安を感じる住民の声もある。</p> <p>①被害実態の把握や寄せられている声について。 ②環境課の取り組みについて。産業振興課の取り組みについて。2課の連携について。 ③農作物のイノシシ被害対策は進んできているか。</p> <p>2. 町の農業委員選任方法改正後3年、農地中間管理機構設置後6年経った。担い手を増やすための取組みはどうか変化してきたか。 令和2年度はまた新たな動きになるようだが、農地の保全と活用について、今後の流れや方向性はどうか。</p>